

学校名	連絡先
南城市立佐敷幼稚園	TEL : 098 - 947-1875
	Eメール : tohma00271@city.nanjo.okinawa.jp

「幼児が遊びこむための環境構成や援助の工夫」

～心を動かされる体験を通して～

1 実践内容

- 幼児がより遊びこめるよう環境構成の見直しを図る。
- 教師や友達、身近な自然との関わりの中で、心を動かされる体験ができるよう援助していく。
- 保育ドキュメンテーションを活用し、課題解決や保育の質の向上を図る。

2 説明資料



絵本コーナーを移動。以前より静かで落ち着ける空間になりました。



スペースが広がった遊戯室に巧技台を設置。異年齢児の関わりが見られます。



登園場所の変更。外遊びへの動線が確保しやすくなりました。



3歳児クラス。自然豊かな園庭で、虫捕りに夢中の子ども達。



「バッタを飼いたい！」子ども達と一緒に調べた事を担任がわかりやすく表示。



「バッタはね、草を食べるんだよ。」園庭の草をちぎって虫かごに入れてます。



4歳児クラス。園歌に出てくるトントンミーを探しに佐敷干潟へ。



「わあ～トントンミーって目が上についでるね。」  
「かわいい～！！」



トントンミーごっこへ発展。「トントンミーってぴよんぴよん飛ぶよ。」



年長組。「カエル捕まえた。何ガエルかな?」「調べよう!育て方もあるかな?」



調べたことを相談しながらカエルの家づくり。「土もいれないとね。」



教師が貼り付けたカエルの写真に、子どもたちが文字を書き入れ絵本作り。



年長組。いろいろな材料を使って、自由に製作を楽しんでいます。



「見て見て～!年中さんみたいな紙コップ人形が作れたよ。」



次々できあがった作品は、飾る場所もみんなで考えました。



「人形劇のはじまりはじまり～!」お客さんも興味津々です。



「みんなに見てもらいたいな～。」「映画館作ったらいいんじゃない!!」



「人形を使ってお話作ろうよ。」「紙に書いておいたら忘れないね。」

### 3 成果・課題・改善策

#### ○成果

- ・環境の見直しを行ったことで、より遊びが発展するようになった。さらに、保護者とのコミュニケーションが取りやすくなり、信頼関係が築きやすくなった。
- ・飼育、観察を通して、その成長や変態の瞬間を目の当たりにするなど、心動かされる体験をしたことで生命の不思議さや神秘を味わうことができた。また、生命の大切さについて考えるきっかけとなった。

#### ○課題と改善策

- ・保育カンファレンスや期の振り返りをとおして職員間の共通理解を深め、幼児の遊びや活動の様子、つぶやきを見逃さないよう協力し合う。
- ・今後も、幼児の実態を考慮しながら環境の再構築に努めていく。